

編集室

戦国出雲考

現在放送中のNHKの大河ドラマ「軍師官兵衛」では、中国地方ゆかりのさまざまな武将が登場しています。黒田官兵衛の属する織田軍の相手役として広島からは毛利輝元と吉川元春・小早川隆景の両川と安国寺恵瓊が出ている一方、岡山からは宇喜多直家・忠家兄弟が登場、特に直家は陣内孝則が底知れぬ陰謀家としての乱世の怪物振りを好演しています。島根県安来市出身の私としては「願わくば我に七難八苦を与えたまえへ」と三日月に祈った山中鹿之介と尼子勝久・亀井茲矩等の尼子再興軍の登場と上月城の戦いに胸が熱くなりました。

ご存知の方も多いと思いますが、ここで尼子家の概略について説明をします。尼子家は南北朝時代の近江のバサラ大名として有名な佐々木道誉の流れで、出雲の月山富田城を本拠とし、特に尼子経久が中興の祖として有名です。彼は守護京極氏の権力を排除しようとしたために室町幕府によって守護代を剥奪され、富田城を追放されます。しかし、雌伏一年余の1486年元旦、彼がわずかな手勢で富田城を奪回した話は月山富田城奪回戦として、「雲陽軍実記」「陰徳太平記」などにより古くから人口に膾炙しています。これは北条早雲が伊豆討入りをした1493年の7年前であり、下克上の先駆けとして1486年を戦国時代の始まりとする見方もあります。その後の経久は美保関の関銭・奥出雲の砂鉄・石見銀山などの経済力を基盤に因・伯および芸・備方面に侵出し、16世紀の初め頃に「十一州の太守」と称されました。経久には毛利元就と同じく3人の男子がいましたが、嫡子政久は若くして討ち死、三男塩冶興久は反乱の末自殺、次男国久は甥の惣領晴久と対立している所を元就の謀略に乗せられて粛清されました。ここが三本の矢に象徴される毛利一族の団結とは異なっています。その後の尼子家は第二次月山富田城の戦いで元就に開城・降伏しました。この尼子本家とは別に、山中鹿之助らによる尼子再興の戦いが始まるのですが、その最後舞台として上月城の戦いが「軍師官兵衛」の中で描かれた訳です。

ところで、尼子経久が戦国大名としてクーデターを起こした月山富田城奪回戦に関して、当時の芸能を生業とし忍行にも長じていた鉢屋賀麻党の協力があったとの伝承がありますが、そ

れとごく少数の兵で時の中央政府に反旗を翻し、新たな時代の先駆けとなることが可能でしょうか？時代は遡りますが、東国の独立を標榜した平将門のように半ば独立国として振る舞うためには少なくとも地元の安来平野を含む能義郡近辺の地侍や農兵に対する周到な根回しならびにその支持が必要なのではないのでしょうか？余り有名な人ではありませんが、この戦いの10年前の1476年に灌漑利権の水騒動から発展し出雲の国人領主の後押しを受けた能義郡土一揆を率いて、時の出雲の守護代尼子清貞(経久の父)と争った中井対馬守秀直なる人物が登場します。経久はその翌年の1477年に19歳で尼子家家督を継いでいますので、この土一揆が家督相続に深く関与していると思います。私事で誠に恐縮ですが、母の従兄弟にこの中井家の末裔(現在は仲井姓、某私立中高一貫校の元事務長)の方が広島市在住で、田舎から出てきた広島大学青雲寮の貧乏学生が時々お邪魔をしては、たらふくご飯を食べさせていただきました。そこで、中井家の歴史に少し興味を持って調べてみると、その家系から戦国大名としての尼子家四家老の中に美作の内で8万7千石を拝領した中井駿河守綱家が出ていることや、鹿之助の出雲奪回戦での布部山の合戦に参陣した中井平三兵衛久家、上月城の戦いに参加した中井与次郎なる人物がいる事などが分かりました。尼子家と当初10年に渡って灌漑利権を争っていた中井家が月山富田城奪回戦の後に尼子家臣団の一角を担うようになるには双方に大きな価値観の変化があったのではと私は想像してしまおうのです。

最後に、鹿之助の尼子再興の戦いとその子孫を描いた2つの小説、南原幹雄著「名将 山中鹿之助」角川書店：平成19年11月初版と小前亮(島根県出身)著「月に捧ぐは清き酒 鴻池流事始」文藝春秋：平成26年3月初版を紹介したいと思います。この2つの小説では後日談である江戸時代の毛利家との関わりが全く正反対に描かれています。どちらの後日談がより事実に近いのか？小説に登場する毛利家家老の末裔の方に聞いてみたいと思います。

(奈良井章人)

広島県医師会速報 2014年(平成26年)6月5日

- 発行所／一般社団法人 広島県医師会 〒733-8540 広島市西区観音本町一丁目1番1号 TEL 082-232-7211 FAX 082-293-3363
広島県医師会HP <http://www.hiroshima.med.or.jp/> E-mail: kouhou@hiroshima.med.or.jp
- 編集者／広島県医師会長 平松 恵一
(広報委員)生田 隆徳、豊田 神敬、小園 亮次、佐々木 龍司、豊田 章宏、中尾 三和子、奈良井 章人
林谷 道子、檜山 桂子、茗荷 浩志、吉田 良順、小笠原 英敬、水野 正晴、岩崎 泰政
- 印刷所／レタープレス株式会社 〒739-1752 広島市安佐北区上深川町809番地の5 TEL 082-844-7500 FAX 082-844-7800